

第261号 大阪LD親の会「おたふく会」



おたふく

大阪 LD 親の会「おたふく会」事務局
連絡先 URL

[http://www.otahuku.net
/form/otoiawase.php](http://www.otahuku.net/form/otoiawase.php)

大阪 LD 親の会「おたふく会」はLD等の発達障害のある子どもや青年の親の会です。

会報の内容について転載または一部引用をご希望の方は当会までご連絡ください
おたふく会ホームページ URL <http://www.otahuku.net/>



オンライン講座

「今知っておきたい

成人後の暮らしについて」

募集

発達障がいのある子どもの将来や成人後に「なんとなく不安...」と感じることはありませんか？いざという時に困らないために、一緒に学びましょう！今回は金銭管理だけでなく「グループホーム」「詐欺や消費者トラブル」「本人に必要な保険」など、生活の様々な場面での身近な話題についてもお話していただきます。多数のご参加お待ちしております！

日時：2023年1月29日(日)10時~12時
講師：鹿野 佐代子 (しかの さよこ) 先生

障がい者福祉施設に33年間勤務されたのち、現場で支援してきた経験と、ファイナンシャル・プランナー、終活アドバイザーの知識を活かして、障がいのある人の暮らしを豊かにするために支援活動をされています。

所属 大阪手をつなぐ育成会社会政策研究所客員研究員、NPO 法人ら・し・さ理事、NPO 法人障がい者・高齢者市民後見 STEP 理事



参加費：おたふく会会員...無料

(おたふく会会員以外の)全国 LD 親の会所属会員...1,000 円

参加費の支払い方法については、下記申込み先までお問合せください。

申込み：otahukuhp@gmail.com (〆切 1/15) までメールでお申し込みください。

件名を「おたふく会オンライン講座申込み」、

メール本文には ①氏名(ふりがな) ②所属グループまたは所属会名 ③Zoom 接続用メールアドレス ④緊急連絡先 ⑤質問事項(ある場合のみ)を記入してください。

※申込を受け付けたのち(おたふく会会員以外の方は参加費支払い確認後)、1/21~1/25 までに Zoom 接続先 URL・パスワード・注意事項等をメールでご連絡します。

この期間にメールが届かなかった場合は、お手数ですが上記の申込先にご連絡ください。

鹿野先生の著書『障がいのある子とその親のための「親亡きあと」対策』翔泳社(新刊)は、おたふく会運営委員会会場でも販売しています！

互選会のお知らせ

重要

おたふく会の活動は会が発足して以来、会員の要望からひとつひとつ生まれてきたものです。それぞれの活動は会員が自覚をもって支えていくことで成り立っています。皆が力を出し合っただけでなく、その中で親自身も共に成長しています。正会員ならどなたでも互選会に参加できます。あなたも一緒に「おたふく会」を運営していきませんか？

日時：2023年3月5日(日)10時から ※互選会後に引き続き、3月運営委員会を実施します
場所：ドーンセンター4階 中会議室1
参加申込・お問合せは、事務局 otahukuhp@gmail.com まで

運営委員の役割は...

運営委員は各活動の企画立案や会運営に関する活動を話し合い決定します。

【役員】 代表・副代表・事務局・会計・広報・監事

【運営委員】

＜会務＞ ホームページ・ブログ・代表副代表メーリングリスト
瓦版・会場予約・資料管理
会報編集...会報『おたふく』のパソコン編集作業
印刷発送...用紙調達、宛名ラベル作成、印刷・発送作業の補助

＜会員向け活動＞

進路進学...進路に関する情報収集および学習会などの企画・運営
グループリーダー...会報印刷発送担当&交流会当日のお手伝い
ペアレント・メンター...府委託メンター研修修了者による活動

＜本人向け活動＞

アドベンチャークラブ...当日のお手伝い、先生との連絡、報告など
アンダンテ&ジェントル(青年本人活動)...青年本人活動の企画など

＜外部連携＞

全国LD親の会・近畿ブロック、その他外部関係機関との会議担当
→JDDnet 大阪、大阪府/大阪市の発達障害者支援体制整備関連、
大阪府/大阪市発達障害者支援センター、
大阪府障害者雇用支援NW、大阪府発達障害団体NW など

★会報編集・印刷発送・会員向け活動・本人向け活動のスタッフ募集中！★
詳しいことは、上記事務局までご遠慮なくお問合せください

現運営委員の皆様へ

来年度の体制を決めるため、現運営委員・来年度運営委員候補の方々にお集まりいただき、新運営委員の選出、会計精算など互選会にて行います。何かと忙しい時期かと思いますが、是非ともご協力をお願いします。現運営委員の方々は、①来年度委員継続の可否または新運営委員候補の選出 ②互選会への出欠（←現運営委員・新運営委員候補とも）を、2月末までに上記事務局にお知らせください。

＜会計精算のお願い＞ 立替えがある委員の方は、2月5日(日)運営委員会、3月5日(日)の互選会・運営委員会で必ず行ってください。どうしても参加が難しく当日に精算できない場合は上記事務局までご連絡ください。

おたふく会新体制交代までの流れ

- 3月5日(日) 互選会にて新年度運営委員の選出、会計精算。互選会後は3月運営委員会。
*新年度4月に入っても総会までの期間、現体制・旧グループのままです。
- 5月28日(日) 第33回総会...総会での承認を得て、新体制が発足します。
- 6月4日(日)予定 6月運営委員会...新運営委員対象にオリエンテーションを行います。

＜編集チームでは＞

「見やすい」「読みやすい」
会報づくりに取り組んでいます☆作業は難しくないので安心して下さいね♪

＜印刷チームでは＞

年4回の会報発行作業のあとは、
グループ交流会にも参加できます♪
作業当日は、色々な年代の会員さんとの交流がとても楽しいですよ!

＜進路進学担当では＞

進路や受験に役立つ情報をゲットできます
★中学生のお子さんのいる会員さんにオススメの活動です。

おたふく会会員・非会員対象

おたふく会活動紹介のお知らせ

募集

新型コロナウイルスの影響によりお休みしていました「おたふく会活動紹介」を再開しております。「おたふく会に入会を考えているが、会のことについて知りたい」「入ったばかりなので活動内容が分からない」「入会してから何年か経つがどういう活動に参加していいのかわからない」という方に向けて、おたふく会の活動をご紹介します。大阪府ペアレント・メンター養成研修を修了したおたふく会メンターが参加します。活動紹介の後半では、入会後の会員交流会を少し体験して頂けるようにと交流会も開催します（希望者のみ）。どうぞお気軽にお申し込みください。

日時・場所： 2月5日（日）14時～15時30分 ドーンセンター 地階多目的室
3月5日（日）14時～15時30分 ドーンセンター 4階中会議室1

対象：会員・非会員を問わず、保護者ならどなたでもご参加いただけます。

定員：5組

参加費：無料

備考：人数把握のため**事前に必ずお申し込みください。**

事前にお申し込みのない方は入室をご遠慮いただきます。

「マスクの着用」「手指の消毒」「少人数でのご参加」など、感染対策へのご協力をお願いします。

新型コロナウイルスの感染状況によっては、予定が変更になる可能性があります。

申込み：<会員>「おたふく会瓦版」または事務局からメールでお知らせします。

郵送で申し込む場合は、会報差出人住所まで送ってください。

<非会員>おたふく会事務局 otahukuhp@gmail.com まで、タイトルに「〇/〇おたふく会活動紹介」本文に「参加者のお名前」「参加人数」「メールアドレス」「お子さんの学年または年齢」「当日連絡のつく電話番号」「参加の動機」をご記入の上、メールでお申し込みください。



事務局からのお知らせ



*おたふく会のチラシとリーフレットについて

必要な方は、チラシ(A4)または3つ折リーフレットをご指定の上、枚数を事務局までお知らせください。

*アドレス・住所変更は...

事務局メールアドレス：otahukuhp@gmail.com または会報差出人住所までご連絡ください。

*会員の皆さまへお願い

新型コロナウイルス感染防止への対応にご協力ください。各活動に参加される際には、マスクの着用や会場に備え付けの消毒薬等で手指を消毒するなどお願いします。また、屋内での活動の場合は混雑を避けるため、事前に人数を把握する必要がありますので、必ずお申し込みの上でご参加ください。



アドベンチャークラブ 秋の廃線敷ハイキング

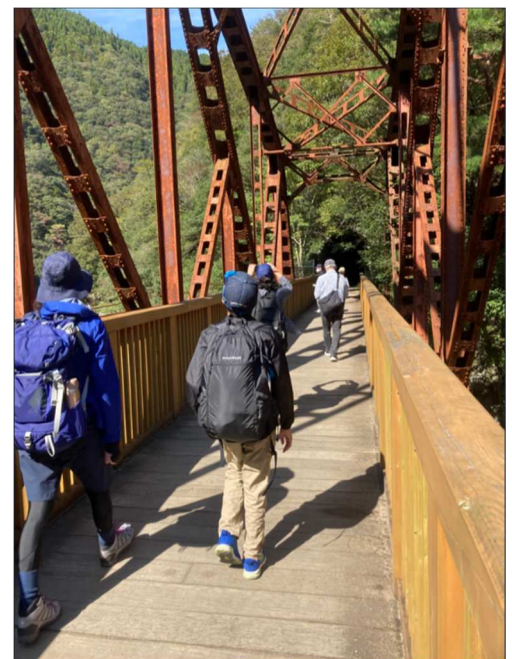
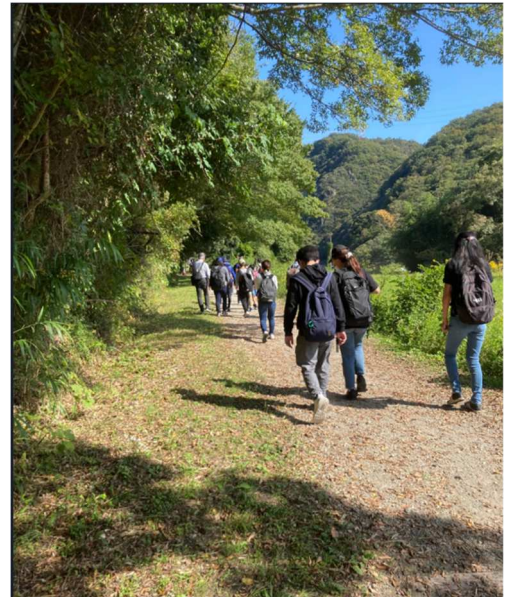
報告

10月23日(日)に、大谷和夫先生にご同行いただき、廃線敷ハイキングに行ってきました。4家族8名(大人5名、子ども3名)が参加しました。

当日は10時30分にJR「生瀬」駅に集合し、廃線跡を「武田尾」駅まで歩きました。道中にはトンネルがあり、真っ暗な中を懐中電灯で足元を照らして、皆で声掛けしながら歩きました。日なたでは暑いくらいでしたが、木陰や溪谷沿い、トンネルの中では涼しく感じました。親同士も日ごろの子育てについて楽しくお喋りしながら歩きました。お弁当を食べながら、大谷先生に子育てや進路について相談したり、先生ご自身が教育に携わってこられた、これまでのお話も少し伺うことができ、自然の中で楽しい時間を過ごしました。

感想

- ・みんなでワイワイ行けて楽しかったです。(中3H君)
- ・廃線跡の枕木の上を歩き電車になったような気分でした。トンネルは暗くて迫力があり、トンネルの天井にはすずがあり、昔電車が走っていたかと思うとわくわくしました。(中2H君)
- ・以前から一度行ってみたいとずっと思っていて、でも、自分達だけでなかなか行く勇気が無く、こちらで連れて行ってくださり、本当に感謝です。雄大な自然に母子共に大変感動しておりました。とても貴重な体験させて頂き、それに皆さん優しく迎え入れて下さり、本当に本当にありがとうございました。m(__)m(中3H君母)
- ・10月下旬と思えないような暑さでしたが、トンネルの冷気に武庫川溪谷の溪谷美や巨岩、川のせせらぎに癒されました。四季折々の自然を楽しめる所なので、次回は桜や紅葉の季節に行けたらと思います。(中2H君母)



次回のアドベンチャークラブについて

予告

次回は3月21日(火・祝)に水無瀬川方面を予定しています。集合場所、時刻、参加費等、詳細が決まり次第、瓦版等にてお伝え致します。

初参加の方、大歓迎です！ご家族でのご参加、また大谷先生に子育てのアドバイスをいただきたい方、保護者様のみでのご参加もお待ちしています。

アンダンテ&ジェントル クリスマスクルーズ&ランチ交流会お知らせ

募集

先日の青年本人交流会で希望が上がったサンタマリア号でクリスマスクルーズを楽しみたいと思います。その後、みんなでランチをし、希望者は大観覧車に乗って、大阪のベイエリアを海から空から満喫します。

- 開催日： 12月17日（土） 集合10時 時間厳守 解散 15時頃
集合場所： 大阪港駅（大阪メトロ中央線） 西改札出口
行先： 天保山ハーバービレッジ
対象： 18歳以上の本人とその会員
（本人・会員の単独参加OK。但し、本人初参加の場合は必ず会員も参加のこと）
定員： 本人12名、会員5名
参加費： （予定）本人1500円 会員2500円（含保険料・観覧車代）とランチ代
持ち物： 障がい者手帳（お持ちの方）
申込期限： 12月3日（但し、定員になり次第締切）
申込先・申込方法については、「おたふく会瓦版」でお知らせ済みです。
郵送で申し込む場合は会報差出人住所まで送ってください。
注意事項： ・アンダンテ&ジェントルに初参加の方は保護者（会員）も一緒にご参加ください。
・参加時には、マスクの着用をお願いします。

アンダンテ&ジェントル 青年本人交流会の報告

報告

10月9日（日）ドーンセンター中会議室でアンダンテ&ジェントル青年交流会を行いました。参加者は青年本人8名と会員1名でした。黙食でお弁当を食べた後、参加者が近況報告をし、今後の交流会への希望を話し合いました。そして最後は、ゲーム大会で盛り上がりました。

2年半ぶりの交流会に参加者からは「ゲーム大会が楽しかった」「久しぶりにみんなに会えてうれしかった」「楽しかった」「こうやって会えて面白かった」などの感想をいただき、コロナ禍以後初めての交流会を無事に終えました。これからも 感染対策をしながら本人活動をしていきたいと思っておりますのでどうぞご参加下さい。

オンライン 親の勉強会 第2回報告と今後について

報告

10月16日（日）10時より、第2回「オンライン 親の勉強会」を開催しました。参加は前回からのメンバー3名（大学生・20代・30代のお子さんのいる保護者）でした。今回は、LDのある方でひらがなしか読めないが「読み上げ機能」を活用している事例の他いくつかの報告と、2022年度会員アンケート結果をもとに教育・厚生・労働関係それぞれの話題で各自意見を出し合いました。

<今後について> オンライン親の勉強会では、会員自らが主体性をもって発達障がいについて学び、ディスカッションの場を提供するつもりで企画いたしました。参加がふるわず、一旦休止いたします。会員の皆様が参加しやすいような開催方法を検討し直します。

「知っ得シリーズ」は、会活動や支援体制・仕組みなど、知っているようで知らない色々な事について、リレー形式で掲載します。7月に行われた全国LD親の会オンライン勉強会では、日詰正文先生による「障害年金と障害者手帳について」をテーマに障害年金の基礎知識を学びました。

今回の「知っ得シリーズ」では、障害年金専門 ぽぷりサポート事務所の社会保険労務士 溝上久美子（「おたふく会」代表）が、障害年金請求の際の留意点についての質問にお答えします。

《質問》 障害年金の請求には初診日(障害のもとになった病気や障害で初めて病院にかかった日)が大切だと聞きましたが、初診日にはどのような意味があるのでしょうか？

《回答》 障害年金の請求のために、初診日が大切な理由は、一つは初診日に加入していた年金制度（20歳前と国民年金・厚生年金）によって、受給できる制度に違いがあるためです。国民年金は障害の程度が3級では受給できない、厚生年金は1・2級は2階建ての年金が受給できるなどの制度の違いがあります。

二つ目は、初めて障害年金の請求ができる日（障害認定日といいます）が、初診日が18歳6か月より前であれば20歳到達時（誕生日の前日）ですが、初診日が18歳6か月より後であれば、初診日から1年6か月を経過した日になります。初診日が20歳前の場合は、障害認定日の前後3か月以内の診断書が必要ですが、20歳以降の場合、障害認定日以降3か月以内の診断書になるなど、請求するときどの時点の診断書を書いてもらうのかに違いがあります。

三つ目に、20歳以降に初診日がある場合、初診日までの年金保険料の納付状況によって、障害年金が請求できない場合があるためです。具体的には、初診日の前々月から前の直近の1年に未納がない場合、または前々月までの全加入期間の2/3以上の保険料の納付・免除が必要です。初診日以降に保険料を納めてもだめで、受診する前に支払いや免除申請をしておかなくてはなりません。20歳になったばかりの時に特に引っかけやすく、すぐに納付や免除申請をしておくことが大切です。

《質問》 診断名がLD、AD/HD、広汎性発達障害などその時によって違う名前になっています。このような場合は、いつが初診日になるのでしょうか？

《回答》 まず、請求時点で先天性（原因不明）の知的障害を伴っていると診断されている場合は、発病日、初診日とも誕生日となり、初診日の証明は必要ありません。知的障害の場合は、医療機関にかからずに、心理検査の結果で療育手帳を取得していることが多いためです。ただし、精神の診断書を提出する必要がありますので、年金の診断書を記載してもらえる医療機関を探して受診する必要があります。

ただ、全く特別支援教育を受けることなく、一般で厚生年金加入後に仕事のストレスなどで二次障害となり軽度の知的障害がわかったような場合は、厚生年金加入中の初診日が認められることもあります。

障害年金を請求する時点で知的障害を伴っていないと診断されている場合は、発病は誕生日であっても、初診日は、傷病を自覚して初めて精神科や心療内科を受診した日となることが多いです。

単なる診断名の変更であれば、（精神科では診断名が変わることも珍しくありません）同じ病気とみなされて、一番古い精神科や心療内科の受診が初診日となることが多いです。発達障害が原因で、二次障害としてうつ病や双極性障害を発症した場合も同じ傷病とみなされることが多いです。

「知っ得シリーズ」では、会員の皆さんからのリクエスト・ご質問・ご意見を募集中！

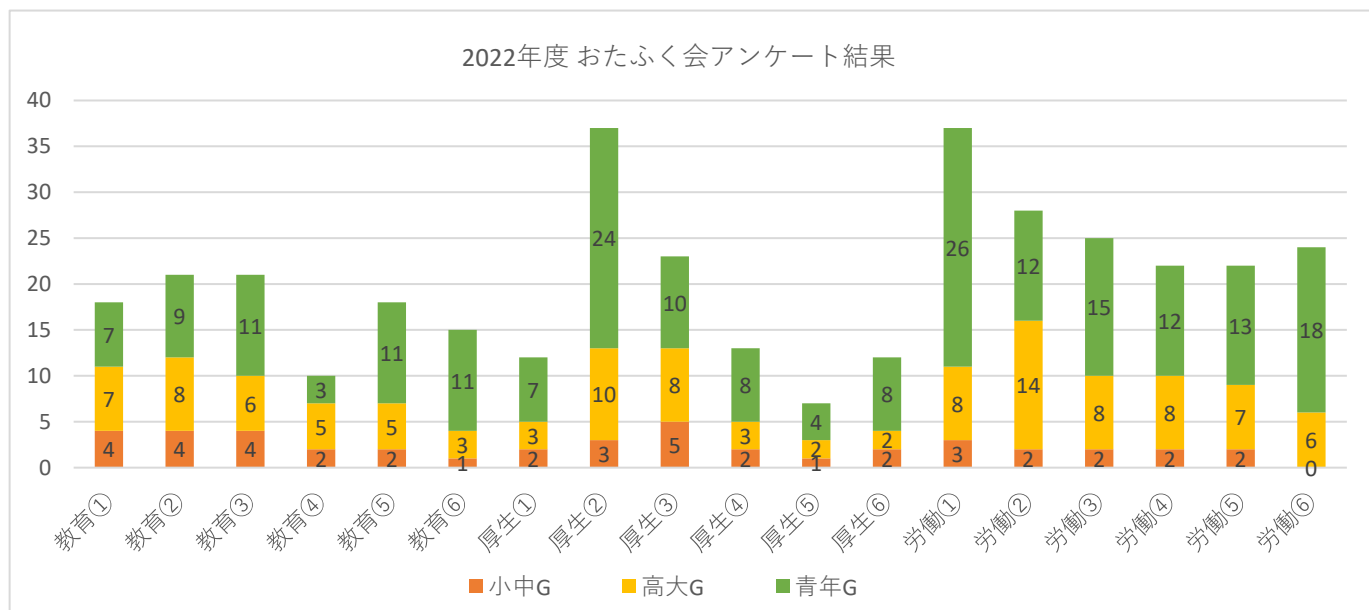
おたふく会事務局 otahukuhp@gmail.com までメールでお寄せ下さい。

2022年度おたふく会アンケート結果 ～アンケートへのご協力ありがとうございました～

報告

おたふく会では毎年、会員継続手続きの際にアンケートを実施しています。今年度は、全国LD親の会の文科省・厚労省宛の要望項目の中から、「おたふく会会員もこれは強く要望したい!!」と思われることにチェック（複数回答）や、困っている現状・ご意見も自由に記述していただきました。継続会員の回答者数は、小中グループ9名中8名・高大グループ18名中16名、青年グループ51名中40名でした。皆さんからのアンケート回答は、おたふく会が参画している発達障害支援体制整備関連の会議等で会の意見として参考・活用します。

チェック項目（全国LD親の会HPより引用、要望の下位項目をここでは省略しています）	
教育関係	① 通常の学級における学級規模を小さくし指導の充実を促進すること
	② 合理的配慮を確保しつつ、インクルーシブ教育システムの充実の推進を図ること
	③ 切れ目のない支援体制整備の一層の推進と指導の充実を図ること
	④ GIGA スクール構想による ICT 機器の整備を進め、誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを確立すること
	⑤ キャリア教育は本人の特性を考慮し、適切な指導を行うこと
	⑥ 発達障害の特性に応じた緊急時の支援対策を整備・周知すること
厚生関係	① 発達障害者支援センターの専門相談員および職員を増員すること
	② 身近な地域での発達障害児者およびその家族に対する支援を推進すること
	③ 乳幼児から成人までの発達障害に対応できる医療機関を拡充すること
	④ 発達障害者に対する情報支援体制の整備を拡充すること
	⑤ 感覚過敏等により、公共交通機関の利用が困難な発達障害のある人に対する外出支援を構築すること
	⑥ 発達障害の特性に応じた緊急時の支援対策の整備・周知すること
労働関係	① 継続して働き続けるための支援を充実すること
	② 発達障害者に対する相談体制の整備と多様かつ効果的な職業訓練、職場実習制度を充実すること
	③ 発達障害者の雇用を促進すること
	④ 公的機関における発達障害者の雇用を促進すること
	⑤ 雇用・就業関係機関職員や事業所に対する発達障害関係の研修を充実すること
	⑥ 障害者就業・生活支援センター事業を拡充すること



おたふく会アンケートの自由記述から

～貴重なご意見ありがとうございました～

【教育関係】

- ・期限付き臨時教員による配置を改め正規の教員の配置を計画的に進めてもらいたい。
- ・初任教員がクラス担任を持つ場合には副担を付けてほしい。
- ・35人以上の普通級では担任の負担が大きすぎて、個別の支援や配慮を提案やお願いできる状況ではない。
- ・1クラスあたりの人数を小さくすることは是非とも有効策として促進してほしい。
- ・支援籍はカウントされない所がある為、支援学級籍と通常学級籍のダブルカウントを認め、学級数増を求める。
- ・職場が小学校ですが、コロナ禍で教員や支援員が欠勤すれば人が足りず困っている。
- ・通級を各校に設置し、自校通級を進めてほしい。
- ・スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセリング、通級が増えてほしい。
- ・特性を理解し「個別対応」して下さる先生が特別扱いされることなく学校全体で取り組む体制を整えてほしい。
- ・学校がフィットしない子のため「校内フリースクール」「適指指導教室」を各校設置し選択肢を用意してほしい。
- ・個別の教育支援計画は、1年後の評価・支援内容等の記録を毎年保護者にも渡してほしい。
- ・切れ目のない支援のため、本人・親・前任・後任を交えて伝える機会を新年度スタートで設けてほしい。
- ・先生同士の引継ぎをしっかりとしてほしい。
- ・中学校に上がる際、支援内容を伝えても出来なさそうだった。不安なく進学できる対策を立ててほしい。
- ・進学先に配慮をお願いした際「協力できない、どうにもなりません」と言われた。タブレット持込みも不可です。
- ・タブレット端末は障がいのある児童生徒が個別に活用できる感じではない。
- ・デジタル教科書は先生方の端末に入っているものを見せてもらうので、支援担がない時は個別に見られない。
- ・発達障がいのある大学生への就職支援の充実を求める。
- ・手帳のない大学生が、合理的配慮のある企業の就労につながるよう就活支援からサポートしてほしい。
- ・学校と医療やデイサービス等が協力して、支援がスムーズになるようにしてほしい。
- ・学校と福祉(放デイ等)とで情報共有し連携を強くしてほしい。
- ・ホームスクール、フリースクールを行う事は許されているが、その場合は「助成金」などの補助をしてほしい。
- ・(全国LD親の会の要望項目は)全て重要と思う。
- ・私立大学においては自主努力という事であいまいさがあり各大学においても差がある。
- ・「どの大学が発達障がいの学生に手厚いか？」と皆さん聞いてこられるが、我が家も手探りの中で入学した。
- ・大学側も積極的に年々増えていく配慮学生の取り組みに力を入れる様に要望したい。

【厚生関係】

- ・役所の支援担当者が発達障がいに詳しくない(理解がない)。
- ・相談支援事業所の相談員の質的向上。
- ・1人っ子のため親亡き後、施設入所や後見人などが心配です。
- ・役所の書類は親が手伝っているので対応できるが、親以外に頼れる体制がない。
- ・現在 福祉サービスを利用していないため、計画相談の対象ではなくなった。
- ・親亡き後を考えると、困った時にどうやって支援者とつながれるのかに悩む。
- ・送迎無しの放デイでは親の負担が大きく移動支援を使いたかったが、放デイの送迎には利用できなかった。
- ・中高大学向けの進路支援型のデイサービスなど増えると助かる。
- ・本人は1人暮らしの気持ちが強く毎月グループホームでショートをしており、私も子の自立を第一に考えたい。
- ・子ども医療で、上限月額500円等で発達外来に何年も継続して通院・投薬を受けさせてもらっている。成人後は現在の小児科にかかれなくなり、医療費も増大すると思うと不安。
- ・成人後、かかりつけ医が見つかるか心配(手帳更新の際の発達検査が2年に1度2万円程かかり自費なので...)
- ・医療費が大きくなるのが心配。親が亡くなると本人が負担するので払えるのが不安。
- ・新たに病院(合う先生)を探したり、本人が悩みをそこで話していく事はとても難しい場合があると感じる。
- ・親子共に長い目で関わり助言して下さる専門医師がいる環境は必要だと思う。
- ・こどもに合う医師を探しても新規受付はなかったり、次の病院に繋がられないかも...と不安。
- ・通院しているクリニックが閉院した場合、親なら次を探せるが、本人だけになった場合の支援をしてほしい。
- ・地域で健康に暮らしていくため、全医療機関の医師～職員の発達障がいに対する理解・対応方法の工夫がほしい。
- ・今は受診ヘルプカードをつくって医療機関に見せているが、ちゃんと対応してもらえるところばかりではない。
- ・電車・バスなど人の多い場所に困っている。タクシーや人の少ない電車・車両が利用しやすくなると助かる。
- ・成人年齢が18才に引き下げになったことによる契約等のトラブルに対しての学習の充実。

【労働関係】

- ・外出がしんどいため、在宅ワークやテレワークによる障がい者雇用を推進してほしい。
- ・職場定着支援は就労後 10 年、20 年以上たっても必要だと思う。
- ・継続して勤務できている場合は自動的に勤務時間を増やし、社会保険に加入できるようにしてほしい。
- ・職場は雇用後、難しくない仕事をやらせて何か問題が起こればその都度対応しようと思っているのが見える。
- ・ジョブコーチも数が足りているとは思えず不安が多い。
- ・精神福祉手帳はもっているが一般就労であるため、支援は受けていない。就労半年で2ヶ月休業し復職となった。
- ・精神科のドクターに相談はしているが、今の会社を続けるべきかやめるべきか、息子の様子を見ている所です。
- ・職場で困った時に上司に伝えられず、親が相談に乗り、支援センターに行っている。どこまで親が介入すべきか？
- ・「職リハ訓練生」となったが、1年間勤めあげられるか、また就職につなげられるのか、親としてとても不安。
- ・発達障がい雇用を増やしてほしいです。
- ・就労出来た後も個人に合った支援を求めやすい環境が好ましいので、社員・職員のサポートも強く望む。
- ・定着支援は、就労移行などを経た人以外も利用しやすくしてほしい。また、期間の延長を望む。
- ・就労先に関する情報なども教えていただきたい。
- ・公的機関での障がい者雇用をすすめているので、「チャレンジ雇用」と期間を限定することはないと思う。
- ・福祉をよくわかっていない経営者が乱立しているように感じる。
- ・職場が地方で1人暮らしというのも大変。
- ・グループホームが合わず1人暮らしを希望した場合、公的年金だけでは住居費が不足し、住宅補助の制度が必要。
- ・家事援助ヘルパーさんに障がい特性を理解してもらうための研修等を行える公的専門機関が必要。

全国 LD 親の会『かけはし』最新号のお知らせ

全国 LD 親の会発行の機関紙『かけはし』第 95 号が、ホームページにアップされました。最新号では、

- ・第 21 回公開フォーラムのお知らせ
- ・発達が気になる子の子育てモヤモヤ解消ヒントブック 社会の中で生きるちから編
- ・オンライン行政勉強会のご報告・オンライン役員交流会のご報告
- ・2022 年度全国会員子どもの構成調査集計のご報告
- ・Web アンケート「保護者から見た GIGA スクール～1 人 1 台端末等の活用状況調査～」のお知らせ
- ・令和 5 年度予算要望書提出のご報告 などが掲載されています。

全国 LD 親の会ホームページ <https://www.jpald.net/kakehashi/index.html> からダウンロードできます。

※おたふく会会員には 11 月会報に同封しています。



おたふく会 2022 年度 11 月運営委員会報告

2022 年 11 月 6 日(日) ドーンセンター中会議室 1

出席:会場 5 名・オンライン 1 名 進行:副代表・書記:事務局

会務

1. 運営委員会の今後の開催予定日 時間はいずれも 10:00～12:00
 - ・11/6 中会 1、2/5 地階多目的室、3/5 中会 1、5/7 中会 1、6/4、9/3、11/5
 - ・オンライン参加可(申込は事務局に 2 日前まで、接続用アドレス・レジュメは前日までに添付で申込者に送付)
2 月運営委員会は地階多目的室で行われるためオンライン参加不可
2. 会報等印刷発送の予定 開始 9:30～ (作業後よりグループ交流会 12:00 終了)
 - ・11/27(日):小中 ⇒3/19(日):高大
 - ・会報印刷発送 2 回担当→2021 年度:小中 G、2022 年度:高大 G、2023 年度:青年 G
 - ・会員外への発送 今年度は年 2 回、6 月・11 月(9 月分同封)・3 月分は 6 月に同封

3. おたふく会瓦版 ()は配信数

- ・4/28(78件) 5/18(79件) 6/17(78件) 7/20(80件) 8/17(80件) 9/16(80件) 10/9(81件)

4. その他

- ・入会書類について ※2月に決定、来年度入会申込み分から適用予定
- ・資料保管 会報バックナンバー(保管分)データ化完了

理解啓発活動

1. 第33回総会および特別企画

2022年度同様に実施、特別企画は会員交流会(オンラインでの参加は申込最少3名)

日時・会場 2023年5月28日(日)大会議室2 12:45～準備・受付、13:30～総会、15:00～交流会、16:30終了

2. 対行政等の要請活動など

3. おたふく会ホームページ

- ・10/16更新...全国LD親の会公開フォーラムお知らせ、会報260号、会則、2021年度活動報告
- ・ブログ「会報より」会報から抜粋しての掲載 <http://otafukukaihou.blogspot.com/>

4. おたふく会ペアレント・メンター活動

- ・活動紹介 14:00～15:30実施 ①6/5 ドーン中会3 参加:会員2名・非会員4名・メンター3名
 - ②9/4 ドーン中会1 参加:非会員3組5名・メンター6名 ③11/6 ドーン中会1 申込:4組・メンター3名
 - ④2/5 ドーン地階多目的室 ⑤3/5 ドーン中会1
- ※名称変更、オンライン活用検討

会員交流

1. 進路・進学

- ・進路進学交流会～大学等のお話を聞く会 11/27(日)14:00～15:30 予定 ドーン和室1・2
- 話題提供:大学生の保護者2名、申込:5名(11/6時点)

2. 学年・所属グループ交流会

- ・高大G保護者交流会 9/25(日)会報作業終了後～12:00 ドーン地階多目的室16名
- ・小中G保護者交流会 11/27(日)会報作業終了後～13:55 ドーン和室1・2 ※進路進学交流会受付まで延長
- ・高大G保護者交流会 3/19(日)会報作業終了後～12:00 ドーン地階多目的室
- ・来年度交流会について ※2月運営委員会で再検討

3. おたふく会ペアレント・トレーニング

- ・ペアトレ修了者10年後のインタビューのお願い ※延期
- ・ペアトレ実施について ※継続時に参加者を募集

4. 親の勉強会 (オンライン開催)

- ・①8/7(日)参加4名 ②10/16(日)参加3名 両日とも10:00～12:00
- ・今後について 開催方式を再検討

5. その他

- ・オンライン講座「今知っておきたい成人後の暮らしについて」講師:鹿野佐代子先生
- 日時:1/29(日)10:00～12:00 内容:グループホーム、詐欺や消費トラブル、本人がかける保険のこと...など
- 参加費:おたふく会会員、家族...無料、全国LD親の会所属団体の会員...1000円

本人活動

1. アドベンチャークラブ

- ・秋の廃線敷ハイキング 10/23(日) 参加:子ども3名・大人5名
- ・3/21(火・祝)水無瀬川方面 ※検討中
- ・保険について年間契約完了

2. アンダンテ&ジェントル(青年本人活動)

- ・青年本人交流会 10/9 ドーン中会1 参加:本人8名・会員1名
- ・アンダンテ&ジェントル クリスマスクルーズ&ランチ交流会 12/17(土) 11月瓦版・会報にて告知

外部連携

1. 全国 LD 親の会、近畿ブロック

- ・第 21 回公開フォーラム テーマ:教育から就業への移行(コロナ禍での影響)
11/9(水)～オンデマンド配信開始、11/13(日)10:20～ライブ配信 おたふく会申込 7 名
- ・第 16 回総会・第 22 回公開フォーラム 総会:2023 年 6/17(土) 公開フォーラム 2023 年 6/18(日)
会場開催・翌日公開フォーラムの従来の形式で開催 会場:富山県総合福祉会館 (サンシップとやま) 予定
- ・今年度『かけはし』の発行は年 2 回(会員外には会報にて発行告知) 94 号 4/12・95 号 10/11 発行
- ・特別支援教育支援員養成ビデオ講座 配信期間 8/17～・8/31～・9/14～・9/28～・10/12～・10/26～(各 13 日間)
- ・全国会員テーマ別学習会 (zoom 行政勉強会)
厚生労働省関係:日詰正文先生
→第 3 回:11/27(日)「放課後デイサービスの質的向上について・不登校について(仮題)」
文部科学省関係:笹森洋樹先生
→第 4 回:1/22(日)時間未定「自閉症・情緒障害特別支援学級と通級による指導」
- ・役員交流会 第 2 回 10/22 19:00～21:00 第 3 回 12/17 13:00～15:00
- ・全国 LD 親の会発行「発達に気になる子のモヤモヤ子育てヒントブック」かもがわ出版
今後の刊行予定 iii)世界を広げる※12 月 iv)ことばと学習 v) 家族・地域・保護者 みんなと繋がる
- ・近畿ブロック会議 ①7/10(オンライン開催) ②3/5(オンライン開催)
- ・近畿ブロック研修会「不登校、引きこもりについて」10/1(土) 参加:64 名(会員 46 名・一般 16 名)
- ・近畿ブロック青年つどいの会 今年度も中止
- ・日本 LD 学会第 31 回大会(京都)2022 年 10/29 日(土)～30(日) 会場:京都国際会館
親の会企画シンポジウム「自己肯定感をはぐくむ～子どもと親が育ち合っていくために～」

2. JDDnet 大阪関連

- ・懇談会 ①9/25(日) ②3/19 特別支援教育実態把握調査 11 月送付
- ・発達障害啓発週間イベント 2023 4/9(日)午後

3. 大阪府ペアレント・メンター事業関連

- ・大阪府ペアレント・メンター事業運営委員会 ①7/8
- ・フォローアップ研修 10/18
- ・スキルアップ研修&交流会 12/2 発表者としておたふく会メンターから 1 名派遣要請

4. 今年度実施の障害者施策会議及び上記以外の関連団体会議 (※)は公開の会議(傍聴可)

- ・大阪府発達障がい児者支援体制整備検討部会(※)
同 成人ワーキンググループ(※)
同 こどもワーキンググループ(※)
- ・大阪市障がい者施策推進協議会障がい者計画策定・推進部会(※) ①8/17
同 基礎調査ワーキング会議 ①5/24 ②7/5 ③8/2
- ・大阪市障がい者施策推進協議会発達障がい者支援部会(※) ①8/26
- ・大阪市発達障がい者支援センター連絡協議会 ①8/19
- ・大阪府発達障がい者支援センター連絡協議会 ①7/25
- ・大阪障害者職業センター 発達障害者雇用支援連絡協議会
- ・大阪府発達障害団体ネットワーク ①6/10 ②11/11



運営委員会 今後の開催予定

《2月運営委員会》2月5日(日) 10時～12時 ドーンセンター地階多目的室にて

《今後の予定》 3月5日(日) 10時～12時 ドーンセンター4階中会議室1にて

旬の情報が行き交うおたふく会の運営委員会は、会員ならどなたでも参加できます。時間を作られてぜひ一度出席してみられてはいかがでしょうか！ 2月運営委員会は通信環境が整っていない為、オンラインでの参加はできません。 事前に人数把握のため、ご参加の方は2日前までに瓦版掲載の申込先、またはおたふく会事務局 otahukuhp@gmail.com までメールでお申込み下さい。

3月会報印刷発送作業&交流会のお知らせ

2023年3月19日(日)

《会報印刷発送作業》 9時30分よりドーンセンター地階ワークステーションにて

担当：高大グループです。

《高大G保護者交流会》 作業終了後～12時 ドーンセンター地階多目的室にて

会報印刷のお手伝いで集まったあとは、グループの会員で集まり保護者交流会を行います。「子どもの最近の様子」「学校や職場での出来事」「将来のこと」など、普段だれにも相談できないことも保護者同士で和気あいあいと話せる絶好の機会です。多数のご参加お待ちしております。

《お願い》 参加される場合は「マスクの着用」「手指の消毒」など、感染防止対策にご協力下さい。

会報印刷発送担当&交流会 今後の予定

《2023/3/19(日)》 高大G ⇒ 《6/25(日)》 青年G ⇒ 《9/24(日)》 高大G ⇒ 《11/26(日)》 小中G

*2022年度は高大グループ、2023年度は青年グループが会報印刷発送作業を2回担当です。

ご協力よろしくお祈いします。

◆ドーンセンター (大阪府立男女共同参画・青少年センター)

〒540-0008 大阪市中央区大手前1丁目3番49号 ☎ 06-6910-8500

最寄駅は、京阪天満橋駅・Osaka Metro 谷町線天満橋駅・JR 東西線大阪城北詰駅



おたふくカレンダー

月	日	内 容	場 所	時 間
12月	17日(土)	アンダンテ&ジェントル クリスマスクルーズ&ランチ交流会	大阪メロ中央線大阪港駅西改札出口集合 天保山ハーバービレッジ	10:00 集合
	17日(土)	全国LD親の会 役員交流会	☑オンライン開催	13:00～15:00
1月	22日(日)	全国LD親の会第4回行政勉強会 「自閉症・情緒障害特別支援学級と通級による指導」	☑オンライン開催	
	29日(日)	オンライン講座「今 知っておきたい成人後の暮らしについて」	☑オンライン開催	10:00～12:00
2月	5日(日)	運営委員会	ドーンセンター地階多目的室	10:00～12:00
	5日(日)	活動紹介	ドーンセンター地階多目的室	14:00～15:30
3月	5日(日)	互選会・運営委員会	ドーンセンター4階 中会議室1 ☑オンライン参加可	10:00～12:00
	5日(日)	活動紹介	ドーンセンター4階 中会議室1	14:00～15:30
	5日(日)	近畿ブロック会議	☑オンライン開催	
	19日(日)	会報印刷発送作業 高大グループ	ドーンセンター地階 NPO 協働フロア(ワークステーション)	9:30～
	19日(日)	高大グループ保護者交流会	ドーンセンター地階多目的室	作業終了後～ 12:00
	19日(日)	JDDnet 大阪 懇談会		
4月	9日(日)	JDDnet 大阪 発達障害啓発週間イベント2023		午後